

# 平成30年度 家庭教育応援プロジェクトフォローアップ研修会 実施報告書

(南会津) 教育事務所

1	実施期日	平成30年6月30日(土) 時間: 9時50分~15時40分
2	会場	御蔵入交流館 多目的ホール
3	出席者数	総出席者数 計 110名 (男性29名 女性81名)
(内訳) 講師(2名), 家庭教育関係者(19名), 保護者・PTA(15名), ボランティア団体(3名) 教職員(9名), 保育士(5名), 応援企業関係者(3名), 放課後子ども教室関係者(5名) 南会津町教育委員会(5名), 下郷町教育委員会(1名), 檜枝岐村教育委員会(2名) 只見町教育委員会(2名), 社会教育課(1名), 会津教育事務所(1名), 南会津教育事務所(7名) 託児児童(9名), 託児保育士(5名), その他(16名)		
4	研修会概要	<p>○ 開会式 (9:50~10:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 開会のことば</li> <li>(2) 主催者あいさつ</li> <li>(3) 日程説明・諸連絡</li> </ul> <p>○ 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 講演 I (10:00~12:00)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師紹介</li> <li>・講演 「家庭教育は、子どもの『自己肯定感』と『生きる力』を育む原点」 親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子 氏</li> <li>・質疑応答</li> <li>・御礼のことば</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 親業とは?</li> <li>2. 「子ども」も「親自身」も大切にする関係づくりのために</li> <li>3. 子どもの心を閉ざす対応                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーションを壊しやすいおきまりの12の型</li> </ul> </li> <li>4. 子どもの心を開く聞き方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの話を聞く基本姿勢</li> <li>○ さらに大切なのは『能動的な聞き方』</li> <li>○ 子ども自身が問題解決に向かえるように親は「聞く」ことで支援する(課程志向型)</li> </ul> </li> <li>5. 子どもの心に届く話し方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私を主語にする『わたしメッセージ』で率直に自分を語る</li> <li>○ 子どもが抵抗・反抗したら「能動的な聞き方」に切り替える</li> <li>○ 子どもに指示・命令する「あなたメッセージ」は攻撃的で伝わらない</li> <li>○ 親が引っ込んでしまっても伝わらない</li> <li>○ 嬉しい・ほっとする・助かるなどの肯定的な感情は『肯定のわたしメッセージ』で伝える</li> </ul> </li> <li>6. 対立したときの解決法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対立は人間関係の真実の瞬間</li> <li>○ 「わたしメッセージ」と「能動的な聞き方」を駆使して対立点を明確にし合った上で解決策を出し合い、『第三法』で対立を解く</li> </ul> </li> </ol> <p>※ 演習(ペア・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手が困っているとき</li> <li>○ 自分が困っているとき</li> </ul> </div>
	昼食	(12:00~13:00)



(2) 講演Ⅱ (13:00~15:30)

- ・講師紹介
- ・講演 「461個の弁当は、親父と息子の男の約束 Part 2」  
ミュージシャン(猪苗代湖ズ) 渡辺 俊美 氏
- ・質疑応答
- ・御礼のことば

【内容】

1. お弁当にまつわるエピソード
2. お弁当にまつわる親子のコミュニケーション
  - 交換日記, 自然に絆を深めたお弁当
3. 感謝
  - お弁当を食べる人, 作る人, お米や野菜, 調味料…
4. お弁当の隠し味は作る人の愛情
  - 食べることは生きること



※ 音楽を交えながらご講演をいただいた。

○ 閉会式 (15:30~15:40)

- (1) 諸連絡
- (2) 閉会

5 感想

【講演Ⅰ 大屋 弘子 氏】

- 自分自身「あなたメッセージ」で育ってきたように思います。同じことを我が子にもしてしまいましたが、今日学んだことで「わたしメッセージ」を使っていきたいと思いました。
- コミュニケーションを壊す12パターンに該当する自分の行動がよみがえってきた。一時的な感情で子どもの心を傷つけていたことを反省。勝手なアドバイスは不要だと思った。「どうせ」という娘の口癖が少しでも出なくなるよう聞き方に気を配りたい。
- 3人の子どもを育てていますが、毎日私の感情で子どもたちを動かしていたな、話を聞いてあげていたようで本当に子どもが話したいことを聞いてあげられなかったなと改めて思いました。本当によい講演会でした。
- 嬉しい感情をしっかりと伝えることの大切さを改めて感じる事ができました。してほしいこと、不満ばかり口にしていたことを反省し、コミュニケーションを大事にして子どもと向き合っていきたいと思います。
- ロールプレイをしたことでより理解が深まった。グループワークも初めての方(若いお父さん)とできてよかったです。男性もいらしたので今後が楽しみです。
- 大屋先生のお話を1ヶ月の間に2度聴かせていただきました。何度聴いてもためになるお話で、ご縁をありがたく思います。保護者としても参考にさせていただきましたが、教師としても必要だなと思いつつ聴かせていただきました。
- ロールプレイ、グループ・ペアワークで体験的に学ぶことができるのがよかった。家庭での様子を互いに話し合うことで「家だけじゃないんですね」と安心される方が多く、笑顔で帰られる方も散見…というかとても多くいらっちゃった。今日は家に戻って明るい気持ちで過ごせるんだろうなと思うと、それだけでこの研修会の意義があったなと思いました。
- 子ども(相手)の気持ちを受け止めることの大切さを学びました。親子であっても違う人格であり、子どもの人格を尊重していきたいと思いました。
- ひとりの人間をつくる家庭教育は大切ですが、実践する自己肯定が「生きる力」になることを教えていただきました。家庭の悩みが私の悩みでした。どう話したらよいのかも教えていただきました。ありがとうございました。
- 相手の話を聞くだけでなく、自分の話も子どもに聞いてもらっていいんだとお伺いして楽になった。

## 【講演Ⅱ 渡辺 俊美 氏】

- 昨年はお話を聴くことができず、残念な思いが残っていたのですが、またお話を聞く機会があって大変嬉しかったです。家庭教育の基本となる親子の温かさを歌や映画を通して教えていただきました。
- 自分の子どもはもうずっと前に成人してしまいましたが、中学・高校と6年間お弁当を作っていたことを思い出しました。特別の会話はなくても、中身の入ったお弁当、空っぽになったお弁当のやり取りでのコミュニケーション、お互いの気持ちが通じるものだと思います。
- 「親の心子知らず」などと申しますが、真心があれば、忍耐があれば必ず伝わるし、子もその親の子どもなのだから伝わらないはずがありません。発信し続けなければならないし、手をかけ子育てしなければならぬと再認識しました。手抜きすればそれなりの結果しか残りません。
- 親子の絆の大切さを知らされた。託児の子どもも一緒に参加して、親子で楽しめてよかった。
- お弁当づくり、そしてお弁当を食べるといふ行為が人の心を繋ぎ、愛を育むという大きな成果を生むということに感動しました。自分も家族や友人への料理の提供を通して、心を愛を伝えられたらと思いました。昔3人の子どもへ18年間お弁当づくりをしたことを懐かしく思い出し、幸せだったと感じました。
- 映画感動しました。あらゆる方面への「愛情」の向け方を学びました。子どもの反抗期(成長期)に親としてどう関わっていけるか考えていきたいなと思います。
- 自分が学生だったときのことを思い出しながら、親のありがたみを感じながら映画を観ました。自分と子どもとの関わり方を考えさせられました。「ありがとう」という言葉をきちんと伝えることの大切さを感じました。
- あと半年のお弁当づくりがんばるぞー!!子どもたちのことが益々かわいく感じ、これからも応援していきたいと思いました。周りの人たちの大切さも再確認できました。歌もよかったです。
- 映画上映会ありがとうございました。父と娘の弁当を通してのやり取りのみの内容が、とても心に響き感動しました。食は生きるエネルギー(身体と心を育む)の源であることを再確認できました。心のこもったお弁当を食べて育った子は素直で優しい人に育ちますね。俊美さんの生歌も最高で贅沢な一日となりました。
- お弁当って不思議なものです。三十数年前、中学校3年間母がお弁当をつくってくれたこと、今さらですが感謝です。今は自分が母親となり、時々お弁当を作ります。息子へのいろいろな思いを詰めたお弁当を明日も作ります。親子の繋がりがあってやっぱりすごいですね。

## 【御意見・御要望】

- 土曜の開催で事務局の方は大変だったと思いますが、おかげさまでよい話が聞けました。講演一つだけ選ぶことができたので参加しやすかったです。
- 家庭教育研修会に託児を設けるといふのはとても良い試みです。若い方が来やすいという点で是非続けていただければと思います。また、2年続けて同じ方を呼ぶというのも内容が深まっていいですという声も多く聞かれました。
- こんなにいい講演会をもっとたくさんの方に聴いてもらえたらと思いました。
- とても良い講師の先生方を招き、話題の映画も観られてありがたかったです。子育ては既に完了していますが、子どもや家族、そして孫に対しての温かい気持ちがわき上がるのを感じました。素晴らしい企画をありがとうございました。
- スタッフの方々、そして託児の方々の頑張りに感謝しています。また、渡辺さんの歌を子どもたちにも聴く機会をつくっていただきありがとうございました。皆様の対応がとても温かかったです。
- スタッフの皆様の温かさが伝わってきました。本当にお疲れ様でした。
- 目標とされていた参加者70名を超えてよかったですね。また機会がありましたら参加させていただきますね。
- 午前・午後を通して「愛」を伝えることについて、そして自分自身について考えることのできるよい機会となりました。猪股先生の熱い思いによって実現した一日に参加できたこと、とても嬉しく思います。ありがとうございました。
- 来年は友だちを誘ってきたいと思いましたので、また期待しています。

## 6 成果・課題

### 【アンケート結果】

#### ◇講演Ⅰについて

大いに参考になった 47名    ある程度参考になった 4名    参考にならなかった 0名

#### ◇講演Ⅱについて

大いに参考になった 39名    ある程度参考になった 3名    参考にならなかった 0名

### 【成果】

- 参加者を多く募りたいと考え、今まで以上に周知活動に力を入れた。町の広報誌、回覧板などにも入れていただいたり、SNSを活用したりなど広範囲に周知することができた。これまでこういった研修会に参加したことがないという方の参加もいただくことができた。
- 無料託児所も設置したことで、小さなお子さんがいらっしゃる保護者の方にもご参加いただくことができた。
- ロールプレイ、映画の上映会、ミニコンサートなどバリエーションに富む講演会としたことで、参加者の方々からも好評の声を多数いただくことができた。
- 子育て真っ最中の若い世代にも多く参加していただいた。どの年代もまんべんなく集めることができた。(20・30代…26%, 40代…25%, 50代…28%, 60代以上…21%)
- 地元企業にもご協力いただき、無料託児におもちゃをレンタルしていただいた。研修会会場にブースを設け、その企業の情報も発信することができた。

### 【課題】

- まだまだ若い世代、特に男性の参加人数を増やしたい。今回若干名の参加があり、好評をいただくことができたので、そこからの口コミも含めて参加者枠を広げていきたい。
- 家庭教育の重要性をさらに理解していただけるよう、研修会のみならず、我々行政からの情報発信は常に心がけていきたい。

